

【基本方向】新規就農から農業経営者の育成まで発達段階に応じたカリキュラムの強化		取組状況	自己評価	次年度に向けた改善策	
評価項目	評価目標	具体的方策			
1 就農準備段階から新規就農者の定着までの幅広いニーズに対応した研修の実施	(1) 定員充足率 :80%	<p>① 経営の発展段階に応じた研修の実施【拡充】</p> <p>新規就農を志す者を対象に、就農に必要な実践的な栽培技術と知識を習得する「新規就農支援研修」「働きながら学ぶ農業入門講座」（稲作、果樹、野菜の3講座）を実施する。なお、「働きながら学ぶ入門講座」については、<u>オンライン受講及びアーカイブ受講を新たに取り入れ、受講機会の拡大を図る。</u></p> <p>また、就農5年目程度までの農業者等を対象に経営に必要な経営力を学ぶための研修として「農業経営力養成講座」を実施する。</p> <p>そのほか、農業及び林業の体験からスマート農業等新技術の展示や地域農業のリーダー経営体育成を目的とする研修まで、動機づけ段階から経営発展・確立段階までのそれぞれのニーズに対応した各種研修を実施する。</p>	<p>・新規就農希望者を対象として、優れた農業経営者や試験研究機関での実習と当校での講義等を組み合わせた1年間の長期研修「新規就農支援研修」を、研修生37名、他研修機関聴講生22名で実施した。</p> <p>・就農希望の他産業従事者を対象として、稲作・野菜・果樹の3コースで専門知識を学ぶ「働きながら学ぶ農業入門講座」を実施した。稲作コースは山形市で実施し、受講者22名、果樹コース及び野菜コースは河北町で実施し受講生は果樹コース76名、野菜コース54名となった。今年度はオンライン受講及びアーカイブ受講も可能とし実施した結果、受講者の大幅増加につながった。</p> <p>・経営力養成講座は「事業計画作成支援研修」は45名が参加し、「経営マネジメント研修」は2回実施し、9名と14名、「農業簿記ソフト活用研修」は19名の参加となった。</p> <p>・スマート農業等新技術の展示は、農林大の授業を公開講座として4回実施し、研修生・農業者等延べ20名の参加となった。</p> <p>※ 定員充足率は、「新規就農支援研修」が118%、「働きながら学ぶ農業入門講座」が169%、「経営力養成講座」は109%、平均132%であったことから、「A」評価とする。</p>	A	<p>・「新規就農支援研修」の受講生は新規就農を目指して研修に参加していることから、就農定着に向けて、円滑な農業開始が図られるよう関係機関・団体と連携した支援を継続する。なお、就農に向けては、就農計画が重要であることから、その作成に向けた研修を強化する方向で検討する。</p> <p>・「働きながら学ぶ農業入門講座」の各コースは、県ほぼ中央にある村山地域に会場に実施しているが、遠隔地での参加を促進するためオンラインでの配信および参加者へのアーカイブ配信を引き続き実施していく。</p>
2 企業的経営体の育成や新分野の事業展開を支援する研修の実施	(1) 定員充足率 :80% (2) 各塾の修了率 :90%	<p>① 企業的経営体（リーダー経営体）の育成支援【継続】</p> <p>生産力・収益性の高い経営者でありながら、スマート農業等の先進技術の導入や、多様な人材の活用、労働環境の改善等、地域づくりや人づくりができる地域農業のリーダー経営体の育成を目指し、経営管理、労務管理、事業計画作成をはじめとした高度な経営手法等を学ぶ「やまがた農業リーダー育成塾」を実施する。昨年度に引き続き、当塾修了者から一部研修に参加していただいて交流を図り、リーダー経営体育成の充実を図る。</p> <p>② 女性農業者の育成支援【拡充】</p> <p>若い女性農業者が、新たな事業展開等に意欲的に取組み、自らの経営部門を持って活躍できるよう、実践的な販売力や経営力の習得を支援する「アグリウーマン塾」を実施する。 <u>今年度は、これまでの「基礎コース」と、新たに、過年度修了生を対象にした「実践コース」を用意し、女性農業者のスキルや経営参画状況に応じた研修を実施する。</u></p> <p>③ 6次産業化や新分野導入等への支援【継続】</p> <p>乳製品加工施設を活用しながら、乳製品の加工・販売を目指す農業者等を対象に、チーズの基礎知識と製造技術までを学ぶ「乳製品加工研修」を実施する。</p>	<p>・本県農業を牽引するリーダー経営体の育成を目的とする「やまがた農業リーダー育成塾」については、事業計画策定方法、経営理念の理解、マーケティングや労務管理や人材育成の進め方を通じてのリーダー経営体として必要な知識やスキルを習得する全9回(9日間)の講座を実施した。また、このほか、事業計画のブラッシュアップを目的としたオンラインゼミを7回実施した。その結果、受講者13名全員が事業計画を作成し、その発表が出来るように支援が出来た。また、専門家による事業計画へのコンサルティングを行い、経営発展のための個別支援も実施した。</p> <p>・「アグリウーマン塾」については、女性の感性を活かしたビジネスプランの策定を目指し、課題の抽出や解決に向けた対応方法、ビジネスモデルの組立等を実践的に学ぶ全6回の講座として基礎コースを実施した。</p> <p>・アグリウーマン塾修了生を対象に、地域農業のモデル的な経営体への育成に向け、前回作成したビジネスプランのブラッシュアップを図る全6回の講座として、実践コースを実施した。</p> <p>・受講生は令和6年1月にビジネスプランの発表を行い、基礎コースは12名中10名、実践コースは8名全員が受講を修了した。</p> <p>・チーズの製造加工を目指す農家等を対象として、チーズ製造の基礎知識や製造実践技術を学ぶ農業ビジネス支援研修「チーズ加工研修」を2月5～6日に実施し、畜産農家や法人の従業員など15名が参加した。</p> <p>* 定員充足率は、「やまがた農業リーダー育成塾」が130%、「アグリウーマン塾」の基礎コースは150%、実践コースが100%、「乳製品加工研修」は150%で平均133%で目標を大きく上回ったことから「A」評価とする。 修了率は、「やまがた農業リーダー育成塾」が100%、「アグリウーマン塾」基礎コースが83%、実践コースが100%となり、平均94%と目標(90%)を上回ったことから、「B」評価とする。</p>	<p>B (1)A (2)B</p>	<p>・当講座は、リーダー経営体として必要な経営スキルやスマート農業等の先進事例を学び、受講生自身の中長期的な事業計画が作成できるように講座カリキュラムを組んでおり、令和6年度についても本県の農業をけん引するリーダー経営体にふさわしい受講生確保に向け、引き続き農業技術普及課と連携しながら、当講座を実施していく。</p> <p>・今後の農業経営の拡大・発展に向けては、雇用導入や農業従事者の育成が重要になっているため、令和6年度は、やまがた農業リーダー育成塾とは別に、農業経営者向けに、雇用導入や人材育成に関する研修を実施する方向で検討している。</p> <p>・アグリウーマン塾修了生を対象とした実践コースを設けたことにより、当コース受講者が地域農業発展を意識したビジネスプランの作成につながった。なお、令和6年度は、当塾修了生のフォローアップ研修や交流会の開催につながるよう検討していく。</p> <p>・チーズの製造加工を目指す農家等を対象として、チーズ製造の基礎知識と製造実践技術を組み合わせた研修を引き続き実施していく。特に今年度は、農業高校等(教諭及び生徒)からの研修参加及び参加希望もあったので、令和6年度に向けては、その対応についても検討していく。</p>

自己評価	自己評価
<p>・新規就農を志す者、新規就農者、就農定着段階の農業者と経営の発展段階に応じた研修を行っており、上記のように多くの研修で、定員充足率を達成することができた。</p> <p>・「新規就農支援研修」については、地域のリーダー的な農業者や試験研究機関、農業技術普及課、市町村、JA等関係者や関係機関が連携し支援したことで、ほとんどの研修生が令和6年度の就農に向けて準備を進めている。なお、2名の研修生は引き続き「新規就農支援研修」を受講する見込みである。</p> <p>・農業者の経営力向上・新分野事業展開を支援する研修については、経営発展に意欲的な若手農業者や女性農業者に対し、事業計画作成を中心に経営発展に必要なスキルの習得を支援することが出来たと考えられる。</p> <p>・研修生からは、「理解が深まった。」、「参加して良かった。」、「現場で活用したい。」との声が寄せられており、好評であった。今後も、受講者の要望等を把握しながら、研修効果の高い研修テーマ・研修内容に務めていきたい。</p>	A

学校関係者評価	学校関係者の意見・要望等→次年度の改善策等	評価
<p>・定員充足率が目標を大きく上回り、また修了生も各地域で大変活躍し、高く評価できる。</p> <p>・これまで同様世代を問わず支援し、多くの受講者が集まるよう、内容を拡充してほしい。</p> <p>・女性向けの研修で基礎、実践が設けられている点は評価できる。</p> <p>・研修をオンラインやアーカイブ化したことによって受講者が大幅に増えたことは評価できる。</p>	<p>・受講生確保において、いずれの研修も目標以上の実績となっている。受講者の評価についての報告・説明があればなおよかった。 → 受講者アンケートでは、いずれも、「理解が深まった」、「参加してよかった」等の評価が多かった。今後も、受講者の意見や要望を含む評価を把握しながら、より効果の高い研修を提供していきたい。</p> <p>・重要性がますます増大する雇用確保や人材育成に関する新たな研修にも期待したい。 → 雇用就農は、本校養成部においても重要なテーマであり、これからの農業経営の発展のためには、必要な手段となる。そのため、令和6年度から新たに、農業経営者向けの「雇用導入・人材育成講座」を実施していく予定であり、雇用の確保と定着、農業従事者の育成に向けて、しっかり支援していく。</p>	A